

第1回夢洲駅デザイン委員会 議事要旨

○会議の日時及び場所

2021年11月12日(金) 午前11:00~12:00
大阪市高速電気軌道株式会社 本社14階 特別会議室

○出席者の氏名(敬称略)

委員長	大阪府立大学 研究推進機構特別教授	橋爪 紳也
委員	京都市立芸術大学 教授	藤本 英子
委員	株式会社藤本壮介建築設計事務所 代表取締役	藤本 壮介(欠席)
委員	大阪都市計画局長	角田 悟史
委員	大阪府・大阪市IR推進局 理事	辰巳 康夫
委員	(代理)大阪港湾局計画整備部長	丸山 順也
委員	大阪市高速電気軌道株式会社 代表取締役社長	河井 英明
委員	株式会社大阪港トランスポートシステム 代表取締役副社長	美濃出 宏人

○議題

夢洲駅のデザインについて

○議事の内容(委員の主な意見)

◆コンセプト等について

- ・万博開催中のみならず、万博後のレガシーとしてまちづくりの拠点となることが重要である。また、フェーズに合わせてアップデートしていくことも必要である。
- ・万博時の2025年の気分や、大阪らしさをうまく表現し、次世代の人が後も評価するよなものを目指したい。
- ・「実証実験都市」として活用できる場にしたい。
- ・「移動の魅力を発信」「移世界に導くゲート」に共鳴、注目している。

◆空間演出等について

- ・運行ダイヤを表現する「折り紙」は日本文化の一つとして世界に発信してほしい。
- ・自然素材の積極的な利用、消費電力低減等、利用者の方々がサステイナブルな世界に参加できるようなアイデアを盛り込んでほしい。
- ・素材が重要である。SDGsの先を行くことを意識したい。

- ・「鏡面」はキラキラ感ではなく、新しいイメージとして示せるよう工夫が必要である。
- ・日本の駅の色温度の高さが気になっている。色温度を低くし落ち着いた空間として欲しい。
- ・訪れるたびに発見がある、未来を感じる場所として空間価値を創出してほしい。
- ・駅に入る前から非日常感を作りたい。コスモスクエア→夢洲にかけて高揚感を高める工夫がほしい。

◆その他

- ・デザインの実現とお客様の動線確保のバランスが重要である。
- ・広告媒体の扱いを議論し、駅デザイナーとのすり合わせを早めに行うべきである。

○今後の開催予定

- ・第2回夢洲駅デザイン委員会 2022年2月2日
- ・第3回夢洲駅デザイン委員会 2022年3月24日